

## 2 学習指導

### 確かな学力を育成する学習指導

#### 【方向性】

確かな学力の重要な要素は、①基礎的・基本的な知識及び技能、②知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等、③主体的に学習に取り組む態度である。

これらを育成するために、各学校においては、指導の重点化や繰り返し学習、少人数や習熟度別学習等、児童生徒の学習状況や個に応じた指導を工夫し、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させることが求められる。さらには、習得した知識及び技能を活用して課題を解決していく探究活動を、総合的な学習の時間を中心に質的に充実させることなどにより、思考力、判断力、表現力等を育成することが必要である。また、主体的に学習に取り組む態度の育成、学習習慣の確立のために、意図的、計画的な指導計画の下に、児童生徒が主体的に学習に取り組むための学業指導の充実と、保護者の意識の高揚等、家庭との連携を行うことが重要である。

#### 【課題】

##### (1) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得

基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、全ての児童生徒が各学年で身に付けるべき基礎的・基本的な知識及び技能等を明らかにした「とちぎの子ども基礎・基本」、「同問題事例集〔基礎・基本編〕」を活用し、指導内容の重点化を図った指導を工夫することや、学年や発達の段階に応じた指導を工夫することが大切である。また、授業におけるねらいの明示、発問や板書の工夫、振り返りの確実な実施等の指導技術の向上に努め、分かる授業を展開することが求められる。

##### (2) 思考力、判断力、表現力等の育成

思考力、判断力、表現力等を育むためには、各教科において、基礎的・基本的な知識及び技能を活用するため、記録、要約、説明、論述等の言語活動を充実させること、そして、それらを生かして、総合的な学習の時間を中心として行われる教科等を横断した課題解決的な学習や探究活動に発展させることが重要である。基礎・基本の習得とその活用については、並行的に進めるための指導計画を作成し、双方をバランスよく育む必要がある。「とちぎっ子学習状況調査」「全国学力・学習状況調査」等の問題や「パワーアップシート（評価問題：県教委）」「芳賀の子ども学力向上プラン チャレンジシート」等を計画的に指導計画に位置付け、身に付けさせたい力を再確認することが大切である。

##### (3) 主体的に学習に取り組む態度の育成や学習習慣の確立

主体的に学習に取り組む態度の育成のためには、児童生徒が分かる喜びを実感したり、学ぶ意義を認識したりできる指導を充実させることや、児童生徒が見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れることにより、自ら学ぶ態度を育むことが求められる。「学ぶ意欲をはぐくむ」リーフレットを参照されたい。さらに、「家庭学習のすすめ」や「家庭でできる学力アッププロジェクト」（保護者用リーフレット）を活用し、家庭学習の意義を伝えたり、宿題を活用して家庭学習の習慣を身に付けさせ、それを自主学習につなげさせたりするなどして、学習習慣の確立を図ることが必要である。

また、学習指導においては基盤となる学業指導を進め、児童生徒が意欲的に取り組める授業にすることが必要である。そのために、①自信をもたせる授業、②コミュニケーション能力を育む授業、③一人一人の実態に配慮した授業、を実践することが大切である。

#### (4) 指導に生かす評価

学習評価については、評定に生かすことはもとより、指導と評価の一体化を図ることが大切である。その際には、児童生徒の学習状況を適切に評価するために、「目標に準拠した評価」による「観点別学習状況の評価」等について、評価補助簿を適切に活用したり、評価により指導を振り返ったりして、次の指導に生かすことに留意する。また、妥当性、信頼性をより高めた学習評価ができるよう、評価規準や方法等について、一層の共有化を図り、学校全体で組織的に取り組むことが大切である。

#### (5) 学習指導の検証改善サイクルの構築

各校で作成した学習指導計画は、前年度の取組を踏まえて改善することが必要である。その際には、「とちぎっ子学習状況調査」や「全国学力・学習状況調査」等の各種調査結果を十分に活用し、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して課題を明確にすることが重要となる。そして学校独自の学習指導における検証改善サイクルを確実に構築・運用し、教師一人一人の指導力の向上に努めることが大切である。

#### (6) 新学習指導要領の実施と移行に当たっての留意点

新学習指導要領の趣旨をふまえ、各教科等において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が図られるように努める。また、中学校においては、移行措置の内容等が確実に実施されるようにし、履修内容の漏れや重複が無いよう留意することが大切である。

#### 【参考資料】

・「令和2(2020)年度 指導の指針」	R02.3 県教委
・「家庭でできる学力アッププロジェクト」(保護者用リーフレット)	毎年 県教委
・「とちぎの子ども『確かな学力』向上のために～授業改善に向けた3つの視点～Vol.2」	H30.3 県教委
・「とちぎの子ども『確かな学力』向上のために～言語活動の充実を図る3つの提案～」	H28.12 県教委
・「パワーアップシート」	H27.12 県教委
・「芳賀の子ども学力向上ガイドブック集」	H27.1 芳賀教育事務所・ 芳広教委
・「とちぎの子ども『確かな学力』向上のために～授業改善に向けた3つの視点～」	H27.11 県教委
・「芳賀の子ども学力向上プラン第二次 チャレンジシート」	H26.12 芳賀教育事務所・ 芳広教委
・「芳賀の子ども学力向上プラン」	H26.2 芳賀教育事務所・ 芳広教委
・「授業のデザイン」リーフレット	H25.3 総教セ
・「学業指導の充実に向けて」	H24.3 県教委
・「とちぎの子ども基礎・基本問題事例集〔活用編〕」	H24.1 県教委
・「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(小学校)(中学校)」	H23.11 国立教育政策研究所
・「言語活動の充実に関する指導事例集(小学校版・中学校版)」	H23.10 文科省
・「新学習指導要領に基づく評価規準設定のための参考資料(小学校編)(中学校編)」	H23.6、H23.12 県教委
・「とちぎの子ども基礎・基本習得状況調査結果・改善に向けて」	H23.3 県教委
・「学ぶ意欲をはぐくむ」リーフレット	H22.3 総教セ
・「とちぎの子ども基礎・基本問題事例集〔基礎・基本編〕」	H21.8 県教委
・「とちぎの子ども基礎・基本」	H21.3 県教委
・「家庭学習のすすめ」	H21.1 県教委
・「とちぎの子どもたちの学力向上のために『学校力』・『教師力』を高めましょう」	H19.2 県教委